令和7年度　大田区立大森第一小学校　自己評価　報告書

○　本校の概要　　令和7年8月28日

○学校教育目標　常に真実を見つめ、これを大切にしていく子どもを育てる　・健康で安全な生活ができる子　・思いやりがあり、仲よく助け合う子　・自らよく考え、行動する子
○学校規模：児童数307名　学級数17学級　教員数（長・副を除き正規教員数）22名
○令和7年度、開校151周年（令和7年2月14日）
○新設教科「おおたの未来づくり」を標野に入れ、令和7年度おおた未来づくり研究実践校、大田区教育委員会教育研究推進校（2年目）、東京都授業改善推進拠点校（2年目）の実践、発表を行う。

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	人数	コメント
生予個き測別4面目力難標をな1育未成来し社手会すを創造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題発見力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			2:		C	
						1:		D	
お世個お界別たと目をつ標担な2うが人る材国を際育都成市します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく姿度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をつ他者を傾聴し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			2:		C	
						1:		D	
た一個め人別のひ目基と標礎り3とがな個る性力とを総育力成をし発ま揮すする	児童・生徒が豊かな人生を生きていくに不基礎となる力として、豊かな心や健かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実践し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通じて、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通じて、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			2:		C	
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			1:		D	
学個校別力目・標教4師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実践するために、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適化含びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4.「おおむね高まっている」以上教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむね高まっている」と回答した。 2.60%以上80%未満がおおむね高まっている」と回答した。 1.「おおむね高まっている」以上回答した教員が60%未満であった。			2:		C	
						1:		D	
た自個め分別のら目学し標びく5をい支援いしきます生きる	問題のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4.「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満の教員が回答した。 2.60%以上80%未満の教員が回答した。 1.「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意識した指導や支援を行っている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			2:		C	
						1:		D	
安全個心軟別な で目教創標育造6環的境な を学つ習く空り間まとす安全・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②避難訓練や安全指導日などを通じて、危険や災害における教育を関係機関と連携しながら進めている。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③ICT機器や情報管理を徹底することで安全に活用するとともに、児童がICT機器を活用した学習を実施する。	5.毎日1回実施する。 4.週3～4回実施する。 3.週1～2回実施する。 1.実施していない。			2:		C	
						1:		D	
学地学個校域校別をコ・目ミつュ標くニュ指7リニ・ネテ地ィ域のの核連と携し・て協働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域との連携・協働した様々な活動を実施している。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			4:		A	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			3:		B	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演・学習会、またはその双方を実施している。	4.「おおむねできた」以上全教員が回答した。 3.80%以上100%未満がおおむねできた」以上回答した。 2.60%以上80%未満がおおむねできた」以上回答した。 1.「おおむねできた」以上回答した教員が60%未満であった。			2:		C	
						1:		D	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である　B：自己評価はおおむね適切である　C：自己評価は適切ではない　D：評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載する。